

## 第1回 十和地域まちづくり推進協議会 会議録要旨

【日 時】 平成30年9月25日（火）午後7時00分～9時00分

【出席者】 宮地孝夫委員、八木敏伸委員、松下洋平委員、中平ゆかり委員、山本大輔委員、川下徳之委員、田頭誠志委員、矢野健一委員、酒井紀子委員

【行政側】 竹本地域振興局長、酒井町民生活課長、大元まちづくり推進室室長、富田地域振興課副課長、井口地域振興課主査

【傍聴人】 1名

### 【議事及び質疑応答】

会長及び副会長の選出

(八木敏伸委員)

会長を安藤岳委員、副会長を山本大輔委員にお願いしたい。もう1年ずつ頼みたい。

※特に異議なし（ただし会長は体調不良で欠席）

(富田\_地域振興課副課長)

本日の会の司会進行は（会長不在の為）副会長の山本大輔委員にお願いする。

### 議事

(1) これまでの協議結果を踏まえた町の取組について（報告）

○富田\_地域振興課副課長が説明

(田頭誠志委員)

一点、質問あり。資料中、十和地域・大正地域の新たな移動手段の検討の部分で地元 NPO という記載があるが、これはどこの事か？

(富田\_地域振興課副課長)

さわやか四万十さんです。

(2) 新たに本協議会が協議する議題について（協議）

(川下徳之委員)

この協議会の目的は？全体的なビジョンを知りたい。

(富田\_地域振興課副課長)

特にこれ、というのは構えていない。ただ、本日の参考になるかとも思い平成30年度「課別」予算概要という資料を用意させてもらった。十和地域振興課だけの分で申し訳ないが、本年度の課として取り組む重点施策等が記載されている。これを参考にさせていただきながら協議会の中で話し合う内容を決めてもらっても良い。

(川下徳之委員)

こういった協議会は、どの地域にもある？

(大元\_まちづくり推進室室長)

大正にはある。窪川には無いです。

(川下徳之委員)

町がどういう絵(将来像・ビジョン)を描きたいのか知りたい。自分は、幹を決めたうえで枝葉をつけた方が良いのではと思う。

(田頭誠志委員)

町の振興計画から外れる動きは無理だと思っている。どんな小さなことでもいいからパズルのピースを1つ作ってみて動いた方が予算が付きやすいのでは。昨年のことをいまどうこう言うわけではないが、路線バスの増便は無理だろうと思う。ほぼ不可能な意見は、現実的じゃないとぼっさり事務局に切ってもらった方が良い。この場を、出し合い話で終わるような協議会にしたい。

(酒井紀子委員)

十和ならではのことを話し合いたい。四万十川のことが、課の重点施策に無いのはなぜ?これを読む限り、どこの地域が出しても同じような施策ではないか?四万十川で私は日常的に子供を遊ばせているので感じることもあるが、川に藻が発生している。あれを何とかしたい。もっと、子供たちにわかりやすい施策はないのか。子供たちがみて、わくわくするような取り組みが町としてできないか。例えば、魚道を魚が通る様子をケーブルテレビで放送してみるとか。

(松下洋平委員)

観光について話してはどうか。スピード感にのって話し合いがしたい。

(矢野健一委員)

四万十川に降りる道があまり無い。消防道を占有している車もある。(釣り客など)緊急時のことも考えてみないといけないと思う。

(田頭誠志委員)

今年度は観光に特化してみますか。今は四万十町の観光といっても、「点」でしか無い。町全体として、南予も含めて点と点を繋げる取り組みを考えてみませんか?

(川下徳之委員)

自分は十和へ移住して21年。よそから来たものの率直な印象として、宝の持ち腐れだと思う。四万十川=清流、という過去の栄光にすがっている。いやらしい言い方かもしれないが、環境のシンボルである四万十川に手を付けていない住民が多い。そこに触らないと。それから住民同士の分断を少し感じる。四万十町全体の共同財産はただ一つ、四万十川だと思う。そこにきちんと向かい合っていきたい。いつも言っていることだが、行政機関でなぜ合成洗剤を使ってる?そこを改善することは簡単なことなのに全くやっていない。どうしてメスを入れないのか不思議に思っている。「四万十川に合成洗剤を持ち込まないで」と行政としてはっきり言ってほしい。

(田頭誠志委員)

十和が昔のにぎやかさを取り戻してほしい。交流人口の増加が不可欠だと思う。川に触れに来る人、川に足を浸けるだけでも。地元とのふれあい、それに通じることを1つでも2つでも取り組みたい。県は「自然を生かして外貨を稼ぐ」という考え方。四万十川をひとつのツールとして、もう少し川に近づける仕組みがほしい。四万十川に近づこうと思わせてくれる場が欲しい。

(八木敏伸委員)

地域が元気になることを考えたい。地吉地区には、若い人が地元を盛り上げていこうとする気概を感じた。なにか工夫があるのだろうか。そういう動きが全体に広がれば良いと思う。

(酒井紀子委員)

町として共有している財産はやっぱり四万十川。お互いに関心を寄せられるものをテーマにしたい。やりがいのある取り組みを。県は仁淀川を最近、推しているように感じる。みんな悔しくないのかなと思う。美しい四万十川があつてこそ、観光も生きてくると自分は思っている。

(川下徳之委員)

三島で、ログビルダー講座をやったらどうだろうか。もう、今のログハウスを壊して。町有林の木材を使ってできないか。ログハウスを建てる講座。お金をもらって、教えて、最終的に出来上がったログハウスは町の財産になる。そういう講座に町民も参加したらにぎわいが生まれるのではないか。そういう面白い取り組みは、マスコミは放っておかない。四万十町がなんか面白いことをやっている、となって注目を集められる。モンベルとかキリンビールとかと、なにか提携も考えられないか。

(田頭誠志委員)

どこを対象にするか。キャンプ場にしても、子連れファミリー層なのか、それとも若いカップルなのか。世界中からキャンプマニアが集うような高度な施設にするのか。

(川下徳之委員)

三島には、過酷感はないと思う。マニア受けはしない。

(田頭誠志委員)

かっぱバックパッカーズは町内でもナンバーワンではないか？インバウンド（外国人観光客）が訪れているのは。あのゲストハウスに外国人が来て何をしているかと言えば、ただ自転車に乗るとか、ただ歩くだけ、とか。そういう行為のなかで見られる風景などを SNS で発信している。ひとたびそういう媒体に載せると、つながりがすごい。我々にも、売り出す行為が必要。

(酒井紀子委員)

十和の子供は多様性に触れる機会が少ない。これだけグローバル教育と言われているのだから、様々な人と対話する機会がもっとほしい。それにはこの地域に人を呼ぶこと。それは、子供のために大人ができることの一つではないか。

(大元\_まちづくり推進室室長)

企画課のなかに、四万十川対策室がある。川のことを中心に仕事をするところ。次回、もし四万十川のことについて話をするなら担当を呼んでも良いと思う。それと、観光面について話し合うなら少し町長の意向もお知らせしたい。町長は公約として、ハイウェイオアシス風の構想を掲げている。要は、高速道路も10年後には四万十市まで延伸するがその途中の四万十町で、いかにインターを降りてもらうか。インターのある平串にそういった拠点を作って、人を降ろしたい。市街地の再編計画もある。商店街を活性化するためだ。いずれにしても、ハイウェイオアシスの構想は大正・十和へのパイプを太くしたいというのが町長の思い。そういった観光拠点施設があるかどうか、十和の人がどう考えているか、町長は知りたがっている。

(田頭誠志委員)

灯台のような、人を導くような拠点じゃないとだめだと思う。物販だけ、とか情報館、とか看板を掲げてただパンフレット置いてるだけとかいうのはいけない。どういう風にしたいのか、中身がないといけないと思うので、どんな施設を町長が目指しているか知りたい。

(大元\_まちづくり推進室室長)

十和は西の玄関。ハイウェイオアシス風は東の玄関にしたいようだ。町長は、双方向から人を呼び込みたい。しかし、できれば巨額の投資はできるだけしたくないと思っている。自分としては、今回のこの協議会が観光に着目した話し合いの場になっているので、町長も望んでいる（聞きたい）方向性に向かっているのはありがたいと思う。

(竹本\_地域振興局長)

三島についてだが、来年度予算に実施設計と計画をあげようとしている。ジップラインやラフティングに関しても。

(山本大輔委員)

次回のテーマは、観光に絞って話し合いをしませんか。

(酒井紀子委員)

自分は、観光も良いけど四万十川をテーマに話し合いたい。まず、そっちだと思う。やっぱり川がきれいじゃないと観光が生きてこない。

(富田\_地域振興課副課長)

例えば、観光施設というふうに限定してしまうと、現指定管理者との絡みがでてくる。だから施設をどうこうじゃなく、既存のものをいかした取り組み、もしくは全く新しい施設について考えてみるのもありだと思う。もっと点を線にする動き…を話し合ってみては。

(山本大輔委員)

次の会のレジュメは、我々も事前に勉強をしておきたい。1～2週間前に配布をお願いしたい。

(田頭誠志委員)

インバウンドはなぜ増えた？それは、施設ができたから。立ち寄る拠点ができたから。それは人を呼ぶためのきっかけになる。人が行き交うスピードをおとす(ゆっくりさせる)人同士が会話をしたり、「ええところやね」と思ってもらえたら、また来てみよう、住んでみようという気持ちになるかもしれない。ここにつなげたい。町のビジョンも。だから、四万十川と施設は並行して考えたいテーマだ。

(富田\_地域振興課副課長)

それでは、次回のテーマは「四万十川を中心とした滞留人口を増やす」ということになるでしょうか？

※全員、異議なし

(田頭誠志委員)

次の会議で、次のような資料がほしい。①水質データ(ここ数年の)、②十和に関連する計画(中井さんのところ)、③消防道の現状(マップでも可、川に降りられるのか?とか写真つきで)。四万十川と人が近づくためにどうすればよいのか考えたい。そのためにたたき台になる資料、データがほしい。物理的に河原に降りたいので、よろしくお願ひしたい。

— 終 了 —